

科目名	看護学教育 Nursing Education
授業形態	講義・演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋学期・応談
実施場所	共同利用棟B107
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 非常勤講師:小泉仁子 Koizumi Hitomi
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1)教授－学習理論について説明できる (2)看護学教育に活用している教授・学習理論について説明できる (3)看護教育課程の変遷について説明できる (4)看護学教育課程の構築について説明できる (5)自らの専門領域の位置づけについて説明できる (6)自らの専門領域における科目の1単元について授業設計できる
他の授業科目との関連	なし
履修条件	なし
授業概要	看護学教育に必要な教授－学習理論と看護学教育における教育方法について、講義や討議、演習を通して学ぶ
キーワード	看護教育課程、教授－学習理論、授業設計、実習指導案
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。なお、演習の時間を設ける。 1・2 (9/17) (1・2限) (教育課程の変遷) (森 千鶴) 3・4(未定)(教授－学習理論:成人学習理論、問題解決理論) (小泉仁子) 5・6(未定)(教授－学習理論:視聴覚教育理論) (小泉仁子) 7・8(11/1) (5・6限) (教育目標、カリキュラムポリシーの関連) (森千鶴) 9-11(11/25) (5-7限) (教育目標とカリキュラムポリシー) (森千鶴) 12・13 (12/6) (5・6限) (授業設計の理解) (森千鶴) 14-16(1/10) (4-6限) (専門領域科目の授業展開) (森千鶴) 17・18(未定) (実習指導案の作成と理解) (小泉仁子) 19・20(2/13) (1・2限) (専門領域科目の実習指導案の作成と展開) (森・小泉)

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(20%)と演習(80%)を併用する
成績評価方法	<p>2/3以上の出席を以て単位取得の要件とする</p> <p>A+ 理論を活用し自らの専門領域の特徴及び将来の発展を見越した授業(講義、実習指導案)を設計し、展開できる</p> <p>A 理論を活用して自らの専門領域の特徴をふまえて1単位について授業設計及び実習指導案を作成し、展開できる</p> <p>B 教育理論や教育方法論を活用して自らの専門領域の1単位について授業設計または実習指導案の作成、及び展開ができる</p> <p>C 自らの専門領域における1単位について授業設計または実習指導案を作成、展開をしているが、理論を活用していない</p> <p>D 自らの専門領域における1単位について授業設計または実習指導案を作成はしたが、十分に展開できるまで内容を理解していない</p>
教材・参考文献・配布資料等	<p>毎回プリントを配布し、それに沿って進める。従って指定する教科書はない。</p> <p>参考書: 中井俊樹著 教育学の理論と技法、メディカ出版、3024円</p> <p>中井俊樹著 授業設計と教育評価、医学書院、2592円</p> <p>中井俊樹著 授業方法の基礎、医学書院、2592円</p> <p>小林忠資著 アクティブラーニングの活用、医学書院、2592円</p>
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	積極的に討議に参加する